

今号の主な内容	
2面	25年度に取り組む主な事業
3面	24年度 区民意識調査の結果
5面	3月17日 下落合に中村彝(つね)アトリエ記念館がオープン
7面	4月1日から お子さんのBCGの接種年齢が変わります
8面	東日本大震災から2年「共助」地域から高める防災力



しんじゅくコール
☎(3209)9999 FAX(3209)9900
土・日曜日、夜間もご案内 午前8時～午後10時

発行 新宿区 編集 区政情報課 (毎月5・15・25日発行)
〒160-8484 新宿区歌舞伎町1-4-1 ☎(3209)1111
ホームページ <http://www.city.shinjuku.lg.jp/>
携帯電話版 <http://www.city.shinjuku.lg.jp/m/>



携帯電話用二次元コード

平成25年度 区政の基本方針を表明 いきいきと暮らせる安全なまち 誰もがワクワクする新宿をめざして

平成25年第1回区議会定例会は2月19日に開会し、平成25年度当初予算案などの議案を審議しています。

開会に当たり中山弘子区長は、区政の基本方針と主要施策について所信を表明しました。今回は、その概要をお知らせします。要旨は、新宿区ホームページでご覧いただけます。

【問合せ】企画政策課(本庁舎3階) ☎(5273)3502・FAX(5272)5500へ。

次の世代に引き継ぐ 明るく平和な社会を めざして

昨年9月の世界の平均気温は、統計を開始した明治24年以降で第1位となりました。その要因は、二酸化炭素等の温室効果ガスによる地球温暖化や、十年、数十年で繰り返される自然変動が重なったためと考えられています。

私は、地球に暮らす一員として、統計を開始した明治24年以降で第1位となりました。その要因は、二酸化炭素等の温室効果ガスによる地球温暖化や、十年、数十年で繰り返される自然変動が重なったためと考えられています。



所信を表明する中山区長(2月19日)

賞し、私も、世界に誇れる日本の基礎科学の実力に大きな喜びを感じました。

こうした明るい話題の一方、わが国の経済は厳しい状況が続いています。そして、未曾有の大災害をもたらした「3・11」東日本大震災から2年が経とうとしています。被災地の生活と地域経済の再建、そして、活力ある日本を再生するためにも、復旧・復興がこれまで以上に加速・進展することを強く望みます。

そして、何より大切なのは世界が平和であることです。私は、互いに顔の見える、血の通った温かい関係を地域から築いていくことが、平和な社会をつくる上で欠かせないと思っています。平和の尊さを胸に刻み、相互に理解を深めたいと思います。

平成25年度の 区政運営の基本認識

25年度の区政運営にあたって、私の基本的な認識を申し上げます。

第一に、災害に強い安全なまちづくりについてです。

昨年4月、首都直下地震による新しい被害想定が発表され、想定死亡者数が3倍強になる等の見直しがされました。地震



1月に実施した新宿駅周辺防災対策協議会訓練

の発生は防げませんが、建物の耐震化や家具の転倒防止等で被害を最小限にとどめることができます。私は、逃げないですむまちづくりを目指し、これからも区民の皆さんとともに、時間との競争の中で、減災社会づくりに力を尽くしてまいります。



新宿モア4番街にオープンカフェを常設

第二に、子ども・高齢者・障害者、誰もがいきいきと暮らせるまちづくりについてです。

全国的な少子高齢・人口減少社会の中で、新宿区の年間の出生数は、平成8年の千638人から、平成21年以降は2千200人前後と増加しています。全力を挙げて子育て支援策を進めた結果、新宿区を「子育てしやすいまち」と考える人が増えたことによるものと思っています。引き続き、地域のニーズを的確に

把握し、子育て家庭への支援と待機児童の解消に取り組んでまいります。

今後の長寿社会では、誰もがその人らしくいきいきと暮らしていることが大切です。多くの高齢者が元気で活躍されている一方、85歳以上の方の要介護認定率は60%以上になっています。元気な方の活動の場や見守り・支え合いの仕組みづくり、支援を必要とする方が利用できる福祉サービスや介護保険基盤整備など、高齢者の生活を支える施策を幅広く推進してまいります。

第三者に、新宿駅周辺のまちづくり、文化創造のまちづくりについてです。

昨年9月に着工した新宿駅東西自由通路の整備は、駅周辺の回遊性の向上だけでなく、まちづくりの大きな起爆剤にもなると考えます。新宿モア4番街のオープンカフェや、新宿コマ劇場跡地の再開発にあわせ、たセントラルロードの再整備等により、「歩きたくなるまち新宿」の実現を推進してまいります。

また、新宿クリエイティブ・フェスタや新宿フィールドミュージアム、漱石山房の復元など文化創造の取り組みは、まちへの愛着と誇りを育み、まちの持続的な成長を支える原動力になると考えます。区民の皆さんとともに新宿のまちが持つ潜在的な力を引き出し、誰もがワクワクする新宿を創造していきたいと思っています。

区民生活に根ざした 施策の取り組みと 豊かな地域自治の 実現に向けて

私は、区民の皆さんに最も身近な基礎自治体の長として、引き続き、区民生活に根ざした施策に積極的に取り組むとともに、国や都に要望すべきは要望し、力を合わせて現下の閉塞感を打ち破るような方向性を見出し、出していきたいと考えています。

豊かな地域自治を実現するための地方分権改革を推進するとともに、これまで新宿が蓄積してきた豊かな地域の力と、多様性や先端性を受容する都市としての懐の深さを大切にして、『新宿力』で創造する、やすらぎとにぎわいのまちの実現に向けて、全力で取り組んでまいります。

「平成25年度に取り組む
主な事業」を、2面に掲
載しています。